

きらめき教養講座は、新しい自分発見！！新しい何かを始めてみませんか！！

茨木市立生涯学習センター

「きらめき教養講座」をいろいろ 講師の方々

茨木市立生涯学習センターで開設されている「きらめき教養講座」は10年以上の歴史のある講座から、新設講座までさまざまです。新しい何かとの出会いは、思いもよらない偶然から生まれることがあります。何かを始めるきっかけとして「きらめき教養講座」を利用してみませんか？ここでは、講座を担当している講師の方々に、自らの経歴や専門領域、日頃の思い、気になる最近の動向など、日頃聞けないことを書いていただきました。講師の人となりを手がかりに新しい出会いを体験してください。

はじめの一步、それが新しい世界の門

岩井 宏子 (いわい ひろこ)
〈龍谷大学 仏教文化研究所研究員〉

源氏物語の世界／栄花物語の世界



平安時代の文学を中心に和歌を専門領域としています。当センターでは長年「源氏物語」を読んでいます。「源氏物語」は極めて抒情性の高い文学作品です。千首を超える和歌、数多く引用されている和歌等々、和歌を根幹に人間の情愛を絡ませ愛の世界を描いた「源氏物語」。それは心を癒してくれ、明日の糧ともなります。そうした作品を一人でも多くの方に学んでいただき、その良さを理解し、各自が世界に誇る古典としての自覚を持っていただけたらと思っています。「源氏物語」は長編です。長さには負けずに読破する—こうした目的を持つことも日々の健康に繋がります。病気を克服され、お元気なお姿で講座に戻ってきて下さる方々を見ますと嬉しい限りです。

最初の勇気で新しい世界がみえる

大原 正義 (おおはら まさよし)
〈元大阪薫英女子短期大学助教授〉

井上靖の歴史小説を読む！！



井上靖の「天平の甕」を読み、いたく感動したのは学生時代のことです。以来、唐王朝と奈良時代に的を絞って、日唐の文化交流史を研究してきました。これまでに数冊の、古代中国や阿倍仲麻呂に材を得た歴史小説を単行本として刊行しましたが、2013年秋には30年来の遣唐使研究の成果として、一般の歴史愛好家向けの著作を出版しました。年齢に関係なく、学習し続けるということは、精神的な若さを保つ上で極めて大切なことです。学べば学ぶほどわからないことが続出します。いつまでたっても未熟ではありますが、学ぶ姿勢だけは保ち続けたいと思っています。古代中国やシルクロード、そして遣唐使のことを語ると、胸が高鳴るようです。これからも遣唐使を軸にして、そこから派生する盛唐時代の事柄（李白や杜甫などの唐詩を含めて）について熱く語り続けたいと思っています。

木村 正明 (きむら まさあき)
〈梅花女子大学名誉教授〉

藤沢周平
～監獄医・立花登の人情奮闘記～



本来の専門領域は、立原道造・室生犀星・三好達治・伊東静雄といった近代抒情詩だったのですが、大学時代に近代文学の講義がなかったため、時代が違っても同じ詩歌ということで、「百人一首」「新古今和歌集」などを選んで受講していました。表現の根底にある「人の心」は不変であり、それこそが文学の根源と

思っているからです。その後、内田百閒・藤沢周平・寺田寅彦・星野富弘といったいろいろの分野の人を取り上げてきました。その文章表現が、さりげなく且つ微妙な情趣を秘めているからです。

緻やかな情を表現する文章の妙味につきます。人の心の愛しさ・哀しさの本源ですね。その為にも、テキストのみならず、その周辺の様々な事柄に目を配り、手を伸ばして、楽しく面白く向き合うことを旨としています。

今までと違う自分発見

小林 章 (こばやし あきら)
〈前甲子園短期大学教授〉

「三島地域を中心として
京都・大阪・神戸の歴史を学ぶ」



本講座は25年度で19年目を迎えております。歴史を学ぶには、本を読んで楽しむのは基本的な事ですが、歴史は人間の歩みそのものです。ただ読書だけでは充分とはいえません。先人達が歩んだ地に行ってみる、そして当時のものは残っていないにしても、その場に立って臨場感を味わうことが大切だと思います。本講座では配布するレジュメに写真を入れてその場面を味わっていただきます。また関連する小説などもとりあげます。茨木をはじめ、京都・奈良・大阪・神戸などの地は歴史を楽しむ宝庫です。

受講された方の中から、その場所に行って、歴史を肌で学ぼうとされる方が多数出て来られることを期待しています。「歴史散歩」を楽しんで下さい。

新たな活動にチャレンジする

安藤 幸江 (あんどう ゆきえ)
〈大阪府立大学名誉教授〉

マザーグース童謡と
『不思議の国のアリス』



私の専門分野は英文学です。特に研究しているのは次の3つです。19世紀イギリス・ロマン派詩人のジョン・キーツ、ヴィクトリア朝の女性詩人のクリスティーナ・ロセッティ、イギリスの伝承童謡のマザーグースです。きらめきでは、マザーグース童謡を23年間講義してきました。今年度は、前期がマザーグース童謡で、後期が『不思議の国のアリス』です。英語の面白さや楽しさを味わっていただければ幸いです。ハーバード大学で開催されたキーツ生誕200年の国際会議で、大学図書館に私の英語のキーツ研究書があった時には、感激しました。この3月、ロンドンでの出版記念会に招かれ、マザーグース学会を代表して、和服で祝辞を述べ、喜ばれました。

岩田 年浩 (いわた としひろ)
〈京都経済短期大学学長〉

マネーの表話・裏話
写真で見る日本経済のあゆみ



私の専門は経済学ですが、その主な視点は景気が変動する根本的な要因と現実の原因です。ともすれば、経済学の役割を金儲けの方法や株価の変化の予想のように考える人がいますがそれは違います。学問の果たす役割は偶然的なことや一時的な現象の根本の動きをつかむことです。若い時代には専門書や教養書を大量に読み込みました。いろいろなことへ関心を広げることが知りたい意欲をかき立てます。近年の研究は複雑に変動する経済数値から音を発生させて、生命力（一度低下しても回復力）のあるものを判断することを世界で初めて実行したことが思い出です。無音と雑音でない、耳触りでない音を発生させるものです。（これは時系列のデータをウェーブファイルへ変換する作業が必要です）。また、わかりやすい、楽しい話をするように心がけています。

あなたを導くのはあなた自身